

中南米の 噴火対応から学ぶ 火山防災II

2023年、活火山法が改正され、
昨年4月から火山調査研究推進本部がスタートしました。
そして、8月26日が「火山防災の日」に制定されました。
これにちなんで、火山防災に関する国際シンポジウムを開催いたします。

火山噴火はいつ起こるかわかりません。噴火による災害を軽減するために、
私たちは、過去の事例や教訓から学び、備えておくことが大切です。

このシンポジウムでは、近年も噴火活動が活発な
中南米地域の噴火対応や国内の対策事例をもとに、
噴火への備えと効果的な対策を専門家と一緒に探ります。

2025年
9月3日(水)
13:00 - 16:40

山梨県富士山科学研究所 本館ホール

〒403-0005 富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
(中央自動車道河口湖ICより5 km)

どなたでも
ご参加いただけます

オンライン
同時開催

- ◆ 参加無料
- ◆ 事前申込み制
- ◆ 日西同時通訳付

※現地参加には定員がございます。
現地参加希望者が定員になった場合は、
オンラインにてご案内させていただきます。

お問合せ・お申込み

山梨県富士山科学研究所 国際シンポジウム担当

☎ 0555-72-6185

✉ mfri-sp-s@mfri.pref.yamanashi.jp

お申込みは
こちらから ▶

※9月2日17時まで



2025年9月3日(水) 中南米の噴火対応から学ぶ火山防災II
司会進行： 亀谷 伸子 氏 (山梨県富士山科学研究所 研究員)

13:00-13:05	開会の挨拶： 河野 公紀 氏 (山梨県防災局 局長) ： 中川 岳春 氏 (JICA北海道センター 所長)
13:05-13:10	趣旨説明： 吉本 充宏 氏 (山梨県富士山科学研究所 研究部長)
13:10-13:50	講演1) 「チリ共和国における火山ハザード管理： 国家災害予防・対応システムの連携」 Nataly Bele CABRERA DIABUNO 氏 (チリ共和国 国家災害防止対策庁 リスク分析解析部専門員)
13:50-14:30	講演2) 「エクアドル共和国の火山噴火に対する情報の流れ」 Valeria Estefania MOYA RAMIREZ 氏 (エクアドル共和国 国家危機管理庁 危機管理政策・基準分析官)
14:30-14:45	休 憩
14:45-15:25	講演3) 「メキシコ合衆国 国家公安市民保護システム： 火山災害に関する調整と調査研究」 Ixchel Yolotzin APODACA MORA氏 (メキシコ合衆国 国家災害防止センター 自然現象モニタリング部長)
15:25-16:05	講演4) 「地域住民とともにつくる避難戦略ー日本とメキシコー」 中野 元太 氏 (京都大学防災研究所 准教授)
16:05-16:35	質疑応答 および 意見交換
16:35-16:40	閉会の挨拶： 藤井 敏嗣 氏 (山梨県富士山科学研究所 所長)